

昭和二十三年七月—九月

日本銀行勘定による日本銀行券増減原因分析

一、七月中

(1) 七月中に於ける日本銀行勘定の増減を見るに次の通りである。

資 産		負 債	
政府貸上金	(-) 七二二	日本銀行券	(+) 一〇、七七七
貸出金	(-) 三、四二四	政府預金	(-) 一、三〇九
国債其他証券	(+) 一六、六二六	当座預金	(+) 二六七
内訳	(+) 二、六二四	其他預金	(+) 二、〇三九
〔政府関係〕	(-) 四、九九八	国庫送金為替	(-) 四五九
〔民間関係〕	(-) 七五七	其他	(+) 七五七
代理店勘定	(-) 一〇七		
板 払 金	(-) 一八二		
本支店政府勘定	(-) 六二八		
其 他	(+) 二、〇七二		
計	(+) 二、〇七二	計	(+) 二、〇七二

(2) 右によれば政府との取引に於ては二百二十一億一千八百萬円の増加を示したのに反し、民間との取引に於ては百十三億四千一百万円の収縮を示したことになる。

◎対政府関係

(+) 二二、一一八

(単位 百万円)

(算定の基礎)

(資 産)		(負 債)	
政府貸上金	(-) 七二二	代理店勘定	(+) 一
国債其他証券	(+) 二二、六二四	板 払 金	(-) 八一
大蔵省証券	(+) 一、〇〇〇	本支店政府勘定	(-) 一八二
食糧証券	(+) 九、六二四	其 他	(-) 三〇〇
		政府預金	(-) 一、三〇九
		国庫送金為替	(-) 四五九
		当座預金	(+) 二六七
		其他預金	(+) 二、〇三九
		国債其他証券	(-) 四、九九八
		内訳	(+) 二、六二四
		〔政府関係〕	(-) 四、九九八
		〔民間関係〕	(-) 七五七
		代理店勘定	(-) 一〇七
		板 払 金	(-) 一八二
		本支店政府勘定	(-) 六二八
		其 他	(+) 二、〇七二
		計	(+) 二、〇七二

日本銀行券増減原因分析 昭和二十三年七月—九月

◎対民間関係

(-) 一一、三四一

(単位 百万円)

(資 産)		(負 債)	
代理店勘定	(+) 一	代理店勘定	(-) 七五八
板 払 金	(-) 八一	板 払 金	(-) 二六
本支店政府勘定	(-) 一八二	其 他	(+) 九二八
其 他	(-) 三〇〇	当座預金	(+) 二六七
政府預金	(-) 一、三〇九	其他預金	(+) 二、〇三九
国庫送金為替	(-) 四五九	其他	(+) 七五七
当座預金	(+) 二六七	復興金融債券	(-) 一、五六〇
其他預金	(+) 二、〇三九	食糧証券	(-) 三、二三〇
国債其他証券	(-) 四、九九八	大蔵省証券	(-) 一、三八一
内訳	(+) 二、六二四	国 債	(+) 一、一七三
〔政府関係〕	(-) 四、九九八	代理店勘定	(-) 七五八
〔民間関係〕	(-) 七五七	板 払 金	(-) 二六
代理店勘定	(-) 一〇七	其 他	(+) 九二八
板 払 金	(-) 一八二	当座預金	(+) 二六七
本支店政府勘定	(-) 六二八	其他預金	(+) 二、〇三九
其 他	(+) 二、〇七二	其他	(+) 七五七
計	(+) 二、〇七二	復興金融債券	(-) 一、五六〇

三五三

食糧証券	(-)	三、五一八	復興金融庫より買入超	一、〇八一
復興金融債券	(-)	九三二	閉鎖機関整理委員会へ売却超	三、八四一
代理店勘定	(+)	一、六三六	市中銀行等へ売却	七五八
仮払金	(+)	二二	引越	二、一八〇
其他	(-)	四七〇	還受	三、一一二
(負 債)				
当座預金	(-)	七三六		
其他預金	(+)	六一八		
其他	(+)	五〇一		

(3) 然し乍ら右の対政府関係に含まれている預金部の収支中、郵便貯金等純民間関係と見做されるもの、収支をみるに、郵便貯金は前月に引続き増加したが、他方地方公共団体貸付が二十七億六千四百万円に上つたため、結局二億一千三百万円の支払超過を示している。従つて之を政府関係より差引き民間関係に加えると共に、本月発行の復興五分利国庫証券十四億円中日本銀行よりの借入金その他同行より供給された資金を以て消化したとみられるもの十一億一千一百万円は政府に対する信用創造と見做し、民間関係より政府関係に移す。更に復興金融庫に対する政府出資の払込金三十四億円は民間関係に加えられるべきであらう。

かくて対政府関係に基く流出額は五十四億九千万円、対民間関係に基くそれは七十三億五千三百万円となるが、対政府関係が久し振りで減少したのは政府資金撒布超過額が八十億円と前月に比し大幅に減少したのと、本行の貸出金が激増したためである。(黒崎)

三、九 月 中

(1) 九月中に於ける日本銀行勘定の増減を見るに次の通りである。

日本銀行券増減原因分析 昭和二十三年七月—九月

政府貸上金	(-)	一〇一	日本銀行券	(+)	七、九〇三
貸出金	(+)	六、三〇四	政府預金	(+)	一、三四五
国債其他証券	(+)	六、七四四	当座預金	(+)	二、九三三
内訳(政府関係)	(+)	九、三二二	其他預金	(+)	一、四二二
民間関係	(-)	二、五七九	国庫送金為替	(-)	二、〇九三
代理店勘定	(+)	四二八	其他	(+)	一、〇一三
仮払金	(-)	三六八	計	(+)	二二、五二三
本支店政府勘定	(-)	四八〇			
其他	(-)	四			
計	(+)	二二、五二三			

(2) 右によれば政府との取引に於ては八十七億五千三百万円の増加を示したのに対し、民間との取引に於ては八億五千百万円と僅か乍ら収縮を示したことになる。

◎対政府関係

(+) 八、七五三

(単位 百万円)

政府貸上金	(-)	一〇一	大藏省証券	(+)	六、〇六五
国債其他証券	(+)	九、三二三	食糧証券	(+)	二、〇六八
薪炭証券	(+)	一、一九〇	新炭証券	(+)	一、一九〇
代理店勘定	(+)	一〇	仮払金	(-)	二七三
本支店政府勘定	(-)	四八〇	其他	(-)	四六八
其他	(-)	四六八	政府預金	(+)	一、三四五
(負 債)					
政府預金	(+)	一、三四五			

資 料

国庫送金為替	(-)	二、〇九三	
其 他	(+)	六	
◎対民間関係	(-)	八五〇	(単位 百万円)

(算定の基礎)

(資産)

貸 出 金	(+)	六、三〇四	
国債其他証券	(-)	二、五七九	
国 債	(+)	一七	(市中より買入超)
大蔵省証券	(-)	五三三	(閉鎖機関へ売却)
食糧証券	(-)	四、八六四	(市中銀行等より買入超)
復興金融債券	(+)	二、八〇一	(市中銀行等より買入超)
代理店勘定	(+)	四一八	復興金融庫へ売却
仮 払 金	(-)	九五	閉鎖機関へ売却
其 他	(+)	四六四	市中銀行等へ売却
(負 債)			
当 座 預 金	(+)	二、九三三	
其 他 預 金	(+)	一、四二二	
其 他	(+)	一、〇〇七	

(3) 然し乍ら右の対政府関係に含まれている預金部の収支中、郵便貯金等純民間関係と見做されるもの、収支を見るに、郵便貯金が三十二億八千一百万円の激増をみたため、地方公共団体に対する貸付金が十八億九千七百万円に上つたにも拘らず十八億九千万円の収入超過を示している。従つて之を民間関係より差引き政府関係に加えると共に、農林中央金庫の食糧及び薪炭代金前受金勘定の月中増加二十七億五千二百万円中日本銀行よりの借入金返済に充当された六億

五千六百万円は同金庫立替金の返済と見做し、政府関係より民間関係に移す。更に本月発行の復興五分利国庫証券三十五億円中日本銀行より供給された資金により消化したとみられるもの二十七億五百万円は政府に対する信用創造と見做し民間関係より政府関係に移す。又復興金融庫に対する政府出資の払込金一億円は民間関係に加えるのを適当としよう。
かくて対政府関係に基く流出額は、百二十五億九千二百万円に上るのに対し、対民間関係に於ては四十六億八千九百万円の収縮を示したことになる。(黒崎)

昭和二十三年十月——十二月

日本銀行勘定による日本銀行券増減原因分析

(1) 十月中に於ける日本銀行勘定の増減を見るに次の通りである。

一、十 月 中					
資 産		負 債			
政府貸上金	(-)	六〇七	日本銀行券	(+)	一七、四〇〇
貸 出 金	(+)	一、三七七	政 府 預 金	(-)	二、六八五
国債其他証券	(+)	一三、二〇七	其 他 預 金	(-)	四、四〇五
内訳(政府関係)	(+)	二〇、二九〇	其 他	(+)	二、〇三三
民間関係	(-)	七、〇八三			
代理店勘定	(-)	二、〇四五			
其 他	(+)	四一一			
計	(+)	二一、三四三	計	(+)	二一、三四三

(2) 右によれば政府との取引によつて流出した日本銀行券は二百二億三千一百万円に上るのに対し民間との取引に於ては却つて二十八億三千一百万円の収縮をみたこととなる。

◎対政府関係 (算定の基礎) (単位 百万円)

政府貸上金	(-)	六〇七
-------	-----	-----